

No.3 自動運行船システムの実現に向けたみちびき活用による洋上での高精度衛星測位の実証実験

- 海上輸送における自動操船システムを実現するためには、衛星測位による自船舶の絶対位置把握を広域かつ安定的に実現できることが重要。
- (株)川崎重工業と東京海洋大学は、東京湾洋上で実際の船を利用して、「みちびき」の高精度測位情報(センチメートル級としてMADCOCA、サブメートル級としてSLAS)の可用性について実証実験を実施。
- 将来は、港湾域での離着岸や航行域での自動航行等への活用を目指す。



東京湾
航行での
実証実験

練習船 (汐路丸)



自動運航船システムが実装された社会 (将来像)

